

早稲田大学 スポーツ科学部 古典 講評

〔総合分析〕

出題形式	マーク式
試験時間	90分（現代文2問、古文・漢文融合1問）
出典	古文…『うつほ物語』俊蔭 漢文…『孝子伝』

〔大問別講評〕

大問番号	設問番号	コメント	難易度
(三)	問十四	<p>〈文法問題〉</p> <p>活用形を問う基本問題。空欄の下の語から答えを導くわけだが、少し気をつけるのは、空欄Bの下の「で」が未然形接続の打消の接続助詞であることくらいで、あとは平易。</p>	平易
	問十五	<p>〈口語訳〉</p> <p>どこの大学でも出題される重要古語・文法事項の訳を問う設問。 1は「なでふ」・「え…打消」、2は「らうたげなり」、5は反語・「な…そ」がポイントになっている。いずれも基本単語・呼応の副詞の知識で解ける。</p>	平易
	問十六	<p>〈会話主の判定〉</p> <p>誰の言葉か問う設問は、発言の内容だけではなく、前後の部分のチェックもしなければならない。特に、3は要注意。</p>	3 標準 4 平易
	問十七	<p>〈内容合致問題〉</p> <p>本年は「合致しないもの」を選ばせるものであった。選択肢は、消去法を使うまでもなく、本文との対応だけで答えが出る平易なもの。</p>	平易
	問十八	<p>〈文学史〉</p> <p>基本的な知識を問う問題。選択肢は受験生なら誰でも知っている人物ばかり。</p>	平易
	問十九	<p>〈漢文〉</p> <p>(1) 解釈問題。「不得一」を知っていれば容易。 (2) 空欄補充問題。漢文は、問題文の後半部の典拠だといふのだから、古文の該当する部分を読めばよい。 (3) 返り点を施す設問。漢文の語順を知っていれば容易。古文の該当部分から傍線部の内容を押さえて解いてもよい。</p>	標準

〔総合コメント〕

難易度	平易。昨年よりもやや易化した。早稲田大学独特の設問も含まれず、やっかいな選択肢もない。こういう問題は、ケアレスミスが命取りになるので、早とちり・思いこみなどは十分気をつけたい。
出典	古文『宇津保物語』は頻出作品。同じ箇所が他の大学でも出題されている。 漢文『孝子伝』はほとんど出題されたことがない。ただ、文章は容易。
分量	やや減少。昨年より70字ほど少ない。
形式	全問客観問題。古文の典拠となる漢文を出題するのは、昨年が続く形。